

TRIAL LESSON

模擬講義一覧

薬学部

1コマ 10:10～10:30 13:40～14:00



薬が効かない微生物による感染症—問題と対策—

中南 秀将 教授

臨床微生物学教室

「感染症」は微生物によって起こる病気です。そのため、微生物に有効な「抗生物質」などの薬で治療します。しかし、薬が効かない微生物による感染症が増えています。本講義では、その問題と対策について紹介します。



大学で学ぶ漢方薬・生薬・薬用植物

横須賀 章人 准教授

免疫学教室

生薬（しょうやく）とは、植物・菌類・鉱物・動物の中で薬効があるとされる一部分を加工した薬のことです。この講義では、漢方薬に構成される生薬や重要な医薬品の原料として用いられる薬用植物について学びます。



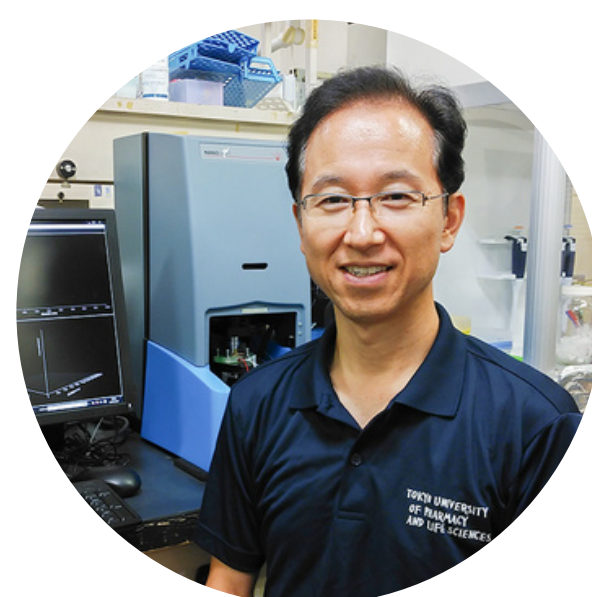
風邪とお薬と薬剤師

川口 崇 教授

臨床評価学教室

「万病のもと」と言われる風邪ってお薬で治せるのでしょうか？本講演では、風邪とは何か？風邪を治すお薬って？を通じて、薬剤師の大切な役割に迫ります。

2コマ 10:40～11:00 14:10～14:30



クスリの宅配便で病巣を狙い撃ち！ナノ技術×DDSの世界

根岸 洋一 教授

薬物送達学教室

がんや難病に挑む夢の医療技術、ドラッグデリバリーシステム（DDS）。クスリをナノカプセルに包み、副作用を抑えつつ病巣にピンポイントで届ける「クスリの宅配便」のしくみをご紹介します。未来のDDSをのぞいてみませんか？



最新アレルギー治療を支える免疫学の力

安達 禎之 教授

免疫学教室

花粉症や食物アレルギーなど、身近な病気であるアレルギー。その治療は今、大きく進化しています。最新の治療法と、それを支える基礎免疫学研究の役割をわかりやすく解説します。



ニキビはなぜできる？思春期の肌を守るスキンケアのいろは

佐藤 隆 教授

生化学教室

思春期の肌を悩ませる厄介者、ニキビ。「なぜニキビができるの？」「ニキビ肌の正しい洗顔って？」。日常生活での紫外線やストレスとニキビとの因果関係、今からできるスキンケアを学び、健康な素肌を目指しましょう。

生命科学部

1コマ 10:30～10:50 14:00～14:20



iPS細胞からの神経の再生医療へ

山内 淳司 教授

分子生命科学科
分子神経科学研究室

21世紀になった現在もなお、高次機能をもつ脳や感覚神経を再生することは困難です。今日の模擬講義では国内に僅かな患者数しかない病気を紹介し、iPS細胞を用いてモデル動物を用いることで治療する試みを紹介します。

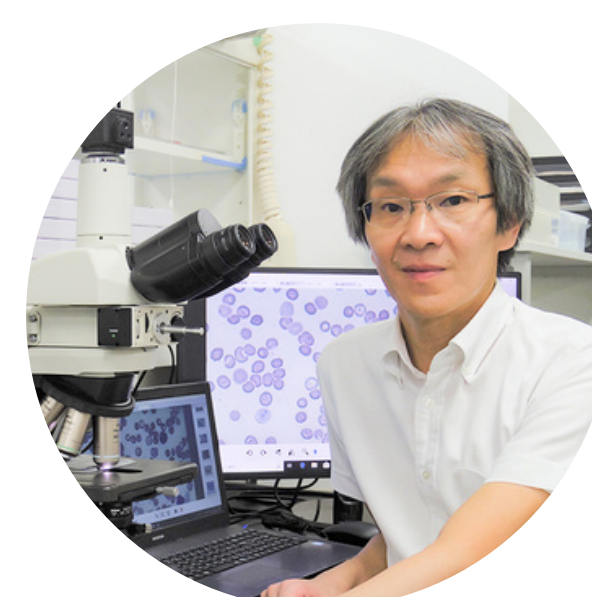


「おいしさ」を科学するだし・うま味の話

熊澤 義之 教授

応用生命科学科
食品科学研究室

日本は四季折々多様な食材が存在し、古くから巧みに「おいしさ」が作り出されてきました。「和食」のおいしさを支えるだしやうま味とは何でしょう。これらの味覚の性質や科学等についてお話したいと思います。



がんをやっつける！

原田 浩徳 教授

生命医科学科
腫瘍医科学教室

日本では2人に1人が「がん」になり3人に1人が「がん」で亡くなる時代です。遺伝子解析技術の進歩により多数の遺伝子異常が同定され病態解明が進んでいます。がんの分子病態と治療法開発について講義をします。

2コマ 11:00～11:20 14:30～14:50



生物の元素戦略体の中で“はたらく”元素のひみつ

梅村 知也 教授

分子生命科学科
生命分析化学研究室

約40億年前、海で生まれた生命は、海水に含まれる多様な元素を取り込み進化してきました。私たちの体内でも、鉄やカルシウムをはじめさまざまな元素が活躍しています。生命と元素のふしぎなつながりを一緒に探ってみませんか？



感染症から体を守る抗体 — その力を薬に変える技術

冨塚 一磨 教授

応用生命科学科
生物工学教室

抗体は、ウイルスや細菌などの異物を正確に見つけて排除し、私たちの体を感染症から守っています。自然が生み出した精密な生体防御システム、抗体がつけられるしくみと医薬品開発への応用について学びます。



ブタは人類を救えるか！？

山口 智之 教授

生命医科学科
再生医学研究室

臓器移植におけるドナー不足は非常に深刻です。しかし、ヒトの臓器をつくる方法はまだ開発されていません。万能細胞であるiPS細胞でどうやって臓器をつくるか、みんなで考えてみましょう！